



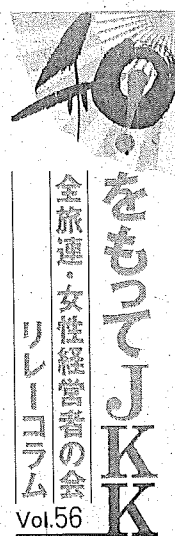
河原 千晶さん  
大阪府泉佐野市  
犬鳴山温泉不動口館

滋賀県の安井ちなみ様よりパトンを受け取りました大阪府・犬鳴山温泉 不動口館の河原千晶と申します。

今から27年前、22歳のころに、6歳年上の主人に「旅館は僕がやるから、君は手伝わなくても、家のことだけしていいよ」と言われ、本当かしら…

と思いつつ、10室の小さな旅館に嫁いでまいりました。

元々、人と接する仕事が好きだったので、気づけば旅館を手伝うようになつていました。主人が社長、義母が女将、私は若女将というポジションで、何でも社長や女将に相談し、ともに宿を営んで



全旅連・女性経営者の会  
リレーコラム  
Vol.56

まいりました。5年ほど前に義母が引退し、女将と名乗るようになった矢先の2年前、主人が突然の病のため、天国へ逝ってしまいました。長男はまだ大学生でした。

その時には目の前が真っ暗になり、半年ほどは買い物にも出られない状態でした。それでも明るく必死に、宿を守ってくれる従業員たちの姿や、この小さな旅館を愛してくださるお客様の笑顔に支えられ、このままではいけない！と思い、何とか立ち上がることができました。

ナーで同席させていただいた不死王閣の岡本社長様にJKKKへお誘いいただき、天国の主人が背中を押してくれているような気がした私は、今年から入会させていただきました。定例会や総会と、まだ3回ほど出席させていただけただけですが、全国から集まるたくましくて優しく、そして様々な困難にも立ち向かう素敵な女将さんたちに暖かく受け入れていただきました。質問を投げかければ、惜しみなく答えてくれ、心細かった私にとって本心に心強く、勉強になる会に参加できたことを心から感謝しております。

ただ、誰も頼る人がいない、自分が社長だという責任の重さに心細さは拭えませんでした。そんな時、あるセミナーで、とっても笑顔が素敵な楽しい女将さん、長野県・渋温泉湯本旅館の湯本英里様にパトンをお渡しいたします。

## 女性のパワーで貢献